

『第1回ものづくりIoTセミナー2019ひょうご・神戸』を開催しました

「第1回ものづくりIoTセミナー2019ひょうご・神戸」を2019年5月20日（水）にクリスタルホール（神戸クリスタルタワー3階）で開催しました。関係者も合わせて約160名の方に参加いただきました。兵庫県・神戸市では2018年度から県・市一体となり、兵庫県内の中小企業のIoTの活用などの「ものづくりの高度化」の支援としていますが、その一環でのセミナーの開催です。

今回はIoTの活用で成果を上げている[株式会社秋谷鉄工所](#)様と[株式会社アスカカンパニー](#)様にご登壇いただき、自社ものづくり現場でのIoT導入の取組みと成果を紹介いただきました。また、後半には、[株式会社大日製作所](#)、[株式会社丸十](#)、[太陽刷子株式会社](#)の3社に自社のIoTの取組みを簡潔に紹介いただいたのにつき、登壇企業5社をパネリストに迎え、パネルディスカッション形式で、IoT活用の実情、効果等を語っていただきました。

今日、IoTに関わる多様な情報が発信されていますが、その多くは大手企業の活用事例やIoTツール・サービスの提供事業者のものであり、IoTのユーザーからの情報は限られています。このため、IoTを活用する中小企業自らが情報発信を行った今回のセミナーは、IoT活用の実情を知る貴重な機会になったと考えています。

それでは、開催の様子をレポートします。

会場の様子です。満席での開催です。



講演

セミナーの前半は、IoTを活用して既に成果を上げている秋谷鉄工所とアスカカンパニーの2社から自社のものづくりの現場でのIoT導入活用の取組みをご紹介します。

「IoTを活用した多品種少量生産」

株式会社秋谷鉄工所
製造部マネージャー
秋谷 直哉氏



秋谷鉄工所は神戸市西区の工業団地に2015年に完成したモダンな工場をもつ金属加工業の会社で、各種ロボット用の部品が主な製品です。製品構成を多量生産部品から多品種少量の高付加価値製品への転換する中で、IoTを活用した生産方式にシフトされました。IoT（工作機械メーカー製の稼働監視ソフト）を導入し、設備稼働状況を監視し、設備の停止原因を把握し排除する取組みの結果、設備稼働率を60%から85%に向上させた、との成果を紹介いただきました。

「IoTは人づくり」

アスカカンパニー株式会社
代表取締役社長
長沼 恒雄氏



アスカカンパニーは射出成型で食品や化粧品のパッケージなどのプラスチック製品を製造しています。大量に生産する製品の品質を担保するための、射出成型機のログデータと製品検査用のカメラデータを採取するIoTシステム（多くは自社で開発）を紹介いただきました。さらに、採取データを可視化し、日々関係者で共有し情報を生かす取組みをご紹介します。また、IoTで採取したデータの分析・監視に機械学習を使う最近の取組みのご紹介もありました。

ショートプレゼンテーション

後半はI o T導入に関わるパネルディスカッションを行いました。ディスカッションに加わっていただく3社から会社紹介とI o T導入取組事例として、以下の話題を提供いただきました。

大日製作所：安価なボードPC（ラズベリーパイ）を用いたI o Tシステム開発

丸十：旭鉄工開発のクラウド型I o Tシステムの導入と改善の取組み

太陽刷子：I o Tツールの導入による製造ラインの見える化、生産性向上



(株)大日製作所橋本様



(株)丸十松尾様



太陽刷子(株)林様

パネルディスカッション

前半ご登壇の2社と、上記3社のご講演者にパネリストになっていただき、パネルディスカッションを行いました。なお、太陽刷子様のパネリストは名越様となりました。写真



はパネルディスカッションの一コマです。司会者だけでなく会場からの質問にもコメントいただきました。

以上